

4月22日：大きな利益確定売りが出たことでベトナム株は下落。下落率は2か月振りの大きさに

取引時間中に大きな利益確定売りが出たことで、大型株の一角はストップ安となり、この日のベトナム株は大幅安となった。下落率は2か月ぶりの大きさとなった。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は3.19%（40.46ポイント）安の1,227.82ポイントだった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、365銘柄が下落、80銘柄のみ上昇した。

出来高は高水準を維持し、売買高は7億7,040万株以上、売買代金は20兆7,000億ドン（8億9,800万米ドル）となった。

VN30指数は3.13%（41.15ポイント）安の1,271.53ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、28銘柄が下落、上昇はゼロだった。

「投資家心理は悪化しており、大量の利益確定売りが出たことで投資家はより神経質になった」（金融ニュースサイトのvietstock.vn）

マッサングループ（MSN）、ビンコムリテール（VRE）、SSI証券（SSI）、フオンドン銀行（OCB）、ペトロベトナム・カマウ肥料（DCM）は最も売られ、全てストップ安をつけた。

ヴィエティンバンク（CTG）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、TPバンク（TPB）、HDバンク（HDB）、軍隊商業銀行（MBB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、SSI証券（SSI）、ホーチミン市証券（HCM）、ヴィエティンバンク証券（CTS）、アグリバンク証券（AGR）、BIDV証券（BSI）といった銀行、証券株も大きく売られた。

不動産、建設株も大きく売られ、ホーチミン市インフラ投資（CII）、ドリームハウス投資（DRH）、フェコン（FCN）、ホアンクアン不動産商業コンサルティング（HQC）、キンバックシティグループ（KBC）、タンタオ不動産（ITA）、第16リ

コジ建設 (LCG) 、サコムリアル不動産 (SCR) といった数多くの銘柄がストップ安をつけた。

鉄、石油ガス関連株もさえなかった。

業種別では、全 25 業種のうち、卸売、保険、不動産、情報技術、小売、銀行、食料品、飲料品、運輸、建設、証券、エネルギー、農業、ゴム製品、水産加工品、建設資材、部品関連を含む 24 業種が下落した。

これらの下落率は 0.16~5.45%だった。

ハノイ市場では、HNX 指数が 3.18%安の 287.04 ポイントだった。

売買高は約 1 億 8,050 万株で、売買代金は 3 兆 7,000 億ドンだった。

前日の水曜日はフン王の記念日 (祝日) で、マーケットは休場だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。